

取扱説明書

エアピンチバルブ

NPV2 - 25A ~ 100A - N

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は、必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品は制御弁（電磁弁、電動弁、エアオペレート弁など）を使用するに当って、材料・流体・配管・電気などについての基礎的な知識を持った人を対象にしています。制御弁についての知識を持たない人や十分な訓練を受けていない人が選定、使用して引き起こした事故に関しては、当社は責任を負いません。

お客様によって使用される用途は多種多様にわたるため、当社ではそれらの全てを把握することができません。

用途・用法によっては流体・配管・その他の条件により性能が発揮出来ない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途・用法にあわせて製品の仕様の確認および使用法を責任を持って決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますがお客様の取扱いミスによって事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、必ず取扱説明書を熟読し内容を充分にご理解いただいた上でご使用ください。

本文中に記載してある取扱い注意事項と合わせて下記項目についてもご注意ください。

注意

- 電磁弁・電動弁などのコイル部は電気を通電すると発熱します。特にH種仕様の機種は高温になる場合があります。直接触れると火傷をする場合がありますのでご注意ください。
- 電磁弁・電動弁などの電気配線接続部（裸充電部）に触れると感電する恐れがあります。分解点検時には必ず電源を切ってから作業してください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。
- 蒸気のほか高温制御用の制御弁の使用については、高温流体が外部に漏れますと火傷の恐れがありますので漏れのないように配管し、各部からの漏れのないことをよく確認してからご使用ください。

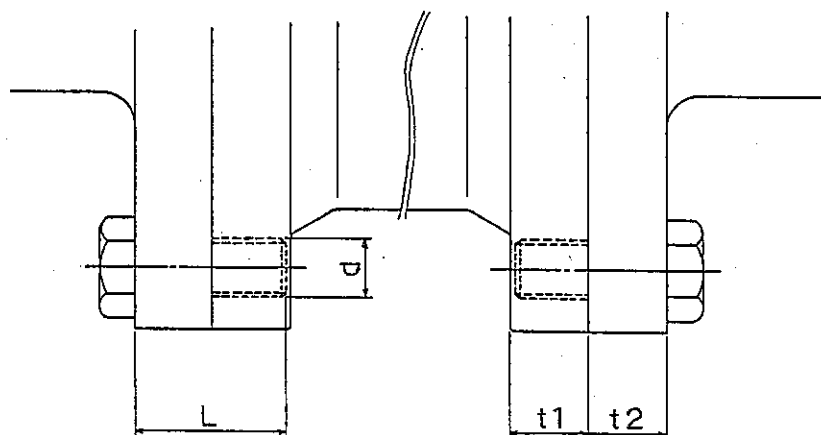
3. 配管取り付け及び操作について

- ・ 配管フランジはすべてJIS 10Kフランジとし、穴はすべてタップになっています。
- ・ 水平、垂直、何れの方向にも取り付けできます。バルブには、方向性はありません。
- ・ ゴムフランジ付きのためガスケットは不要です。
- ・ バルブは配管と同一センターに取り付けてください。
- ・ バルブに配管荷重が集中しないようにしてください。
- ・ バルブを配管取り付けする際、ボルトを対角線上に交互に締め、片締めにならないように注意してください。
- ・ 操作は清浄エア（温度 MAX40℃）を使用し、オイルは絶対に使用しないでください。
- ・ 操作圧力は流体圧力(水圧)の0.2~0.3 MPa 増とし、リークの出ない範囲で、できるだけ低くセットしてください。
- ・ 流体が液体の場合、流体にエアが混入しますと振動することがあります。振動した場合は配管にエア抜きを設けてください。
- ・ 2次側が開放の場合、必ず相フランジにてゴムスリーブを押さえておいてください。

4. 保管方法について

- ・ 屋内の湿気の少ない乾燥した場所に保管してください。
- ・ 直射日光が当たらない場所で高温多湿にならないようにしてください。
- ・ バルブ本体に無理な荷重がかからないように保管してください。
- ・ ゴム材質を使用しているため、近傍での火気は使用しないでください。
- ・ 不安定な高積みは落下の危険がありますので避けてください。

5. 配管ボルト寸法



サイズ	d	L	t1	t2	数量	質量 (kg)
25A	M16	30	18	14	8	0.92
40A	M16	35	20	16	8	0.97
50A	M16	35	20	16	8	0.97
65A	M16	40	22	18	8	1.0
80A	M16	40	22	18	16	2.1
100A	M16	40	24	18	16	2.1

- ※ フランジの厚みは鋼製フランジで計算
- ※ 配管フランジはFFを使用

6. 補修について

- 1) スリーブ交換部品についてはゴムスリーブ、ゴムフランジ、接着剤、取扱説明書を1セットとして出荷します。

取扱説明書は別に添付しましたので参照してください。

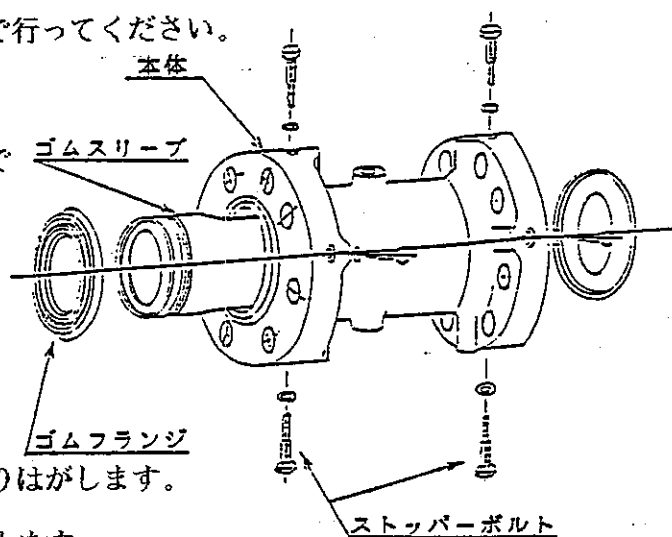
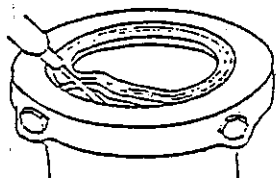
- 2) スリーブ接着部の取り外しは、取扱説明書通りの作業で可能です。但し、接着面のゴムは破損します。破損を最小減におさえるには、取り外し作業前に 80℃以上の湯に3分以上浸し、取扱説明書通りに外してください。

7. ゴムスリーブ交換方法

* ゴムスリーブを交換する場合は、下記の手順で行ってください。

分解

- a) バルブ本体を立てて、ドライバーなどで
ゴムフランジを出します。



- b) 両側のゴムフランジをゴムスリーブよりはがします。
c) 両フランジのストッパーボルトをゆるめます。

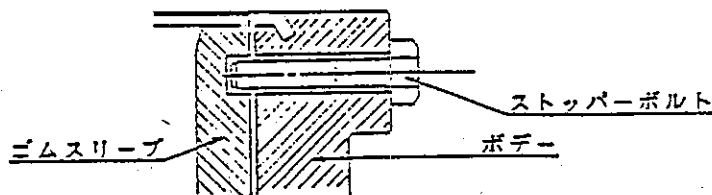
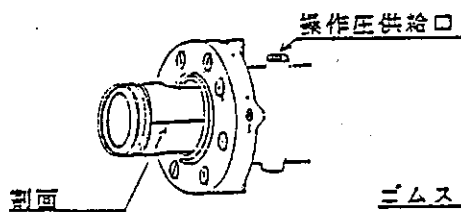
5mm以上ゆるめると、ストッパーボルトはゴムスリーブからはずれません。

- e) 片側からゴムスリーブを押し、ゴムスリーブは抜けます。

この時ストッパーボルトがゴムスリーブの芯金にかかっていないことを確認してください。

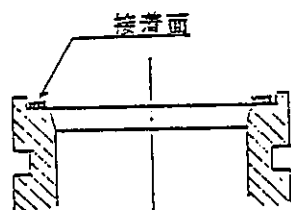
組み立て

- a) ボディフランジ溝に異物が入っていないことを確認すること。
b) ボディのフランジ溝にシリコンスプレーを塗布し、ゴムフランジが挿入しやすくする。
c) ボディにゴムスリーブをいれる。
d) ゴムスリーブの断面を操作圧供給口より90度回転した位置にあわせて、両側のストッパーボルトで固定する。このときゴムスリーブの芯金の溝にストッパーボルトが確実にハマり込むようにする。



e) ゴムスリーブの位置を動かさないようにして、フランジ面に瞬間接着剤を付ける。

図に示す位置に適量をつけてください。(多量に付けると、接着するまでに時間がかかります。)



f) ゴムフランジをボディフランジ溝にはめ込みながらゴムスリーブとゴムフランジを接着する。ゴムスリーブとゴムフランジの接着面には凹凸がついているので、これをあわせること、離れる場合はしばらく押さえていると接着します。これを両フランジについて行う。

補修部品リスト	
品名	数量
ゴムスリーブ (CR)	1
ゴムフランジ (CR)	2
接着剤	1
取扱説明書	1